

5-2 園外研修

5-2-1

園外研修の歴史

園外研修の内容は、炉端の会 20 年の前半 10 年と後半 10 年とでかなり異なっている。

平成 6（1994）年 9 月に活動開始した第 1 グループは 11 月に高津区の影向寺を見学するなど活発な研修活動を行ない、その後第 2・3 グループが発足するとグループ合同研修（平成 10（1998）年 10 月「観音様と民家集落の旅」、平成 11（1999）年 5 月伊那部宿（三澤家）を訪ねる」、平成 12（2000）年 9 月「奈良県立大和民俗公園・民俗博物館」など）も行われた。さらに各グループごとの自主研修も盛んに行われた。

研修の目的は寺社仏閣や古民家を建築物として勉強して日々の活動に資することにポイントが置かれていた。

平成 17（2005）年 4 月炉端の会の体制が再編されたが、一年間中断されていた園外研修については班長会主催で実施することとし、現在も最大のイベントとなっている。

また、研修の目的は、

- ・民家園に移築されている民家の旧所在地を訪問し現地の気候風土・地理的条件を体感すると共に、旧所有者から直接お話を伺う
- ・旧所在地近隣の重文民家などを訪ねて彼の地の地理・歴史・民俗・文化についての見識を広める

ことによって来園者が民家園の古民家に親しんでいただけるような説明が出来るようになることにもポイントが置かれている。

実施に当たっては日帰りが可能な地域から行うこととなり、平成 17（2005）年北村・岩澤家、平成 18（2006）年広瀬家など、平成 19（2007）年太田家など、平成 20（2008）年佐々木家など、平成 21（2009）年作田家など毎年行われた。平成 22（2010）年からは遠隔地に赴く宿泊研修が行われ、平成 22（2010）年鈴木家、平成 23（2011）年三澤家、平成 24（2012）年江向家・山田家・野原家、平成 25（2013）年工藤家、平成 26（2014）年菅原家の旧所在地を訪問し知見を高めている。

この結果、民家園所蔵民家について平成 26（2014）年で西日本以外の訪問がほぼ一巡したため、平成 27（2015）年からは当初訪問地の再訪が計画されている。

（編集委員 13 期 金曜 布野）